

舞踊学会 第24回定例研究会報告

開催日：2019年6月15日（土）10：00～17：00

会場：東京女子体育大学

【プログラム】

■ 受付開始 9：30（4号館2階会議室）

■ 一般研究発表 10：00～14：15

第1会場：4号館3階 4301教室			
時間	発表者	発表題目	座長
10：00～10：45 発表30分 質疑15分	岡元ひかる (神戸大学大学院・ 博士後期課程)	土方巽の舞踏訓練「虫の歩行」 における身体経験	國吉和子 (舞踊評論家)
10：45～11：30 発表30分 質疑15分	金 保延 (創価大学大学院)	近年の韓国における学校舞踊教育 —教育課程上の検討—	猪崎弥生 (お茶の水女子大学 名誉教授)
11：30～12：15 発表30分 質疑15分	白澤 舞 (長野県立大学)	トリシャ・ブラウンの舞踊作品創作と 一人ひとりの身体	外山紀久子 (埼玉大学)
12：15～13：30	昼食休憩		
13：30～14：00 発表20分 質疑10分	山本輝太郎 (明治大学情報コミュ ニケーション研究科 博士後期課程)	ダンスセラピー研究における QOL向上効果に関する一考察 —混合研究法の導入を見据えて—	大橋さつき (和光大学)

第2会場：4号館2階 4201教室			
時間	発表者	発表題目	座長
10：00～10：45 発表30分 質疑15分	小林敦子 (明治大学)	「阿波おどり」における踊りの変容 —1929年から2017年を中心に—	遠藤保子 (立命館大学)
10：45～11：30 発表30分 質疑15分	佐藤真知子 (お茶の水女子大学 グロー バルリーダーシップ研究所 特別研究員)	振付作品からみる ヴァーツラフ・ニジンスキーの舞踊思想	貫 成人 (専修大学)
11：30～12：15 発表30分 質疑15分	武藤大祐 (群馬県立女子大学)	ルース・セント・デニスの日本巡演に おける「芸者」との接触 —アジア各地のヴァナキュラー 舞踊文化との比較において—	松澤慶信 (日本女子体育大学)
12：15～13：30	昼食休憩		
13：30～14：15 発表30分 質疑15分	山田小夜歌 (日本女子大学)	G.V.ローシーの活動と背景： 世紀転換期西欧と大正期日本における バレエの様相	森 立子 (日本女子体育大学)

■ 理事会 12：15～13：30 4号館3階会議室

■ 例会企画 14：30～17：00（4号館3階 4301教室）（一般公開）

テーマ：「大学における舞踊カリキュラムの現状とその可能性」

時間	内容
14：30～15：45	<p>本企画の趣旨 話題提供（順不同）</p> <p>司会進行：村田芳子（平成国際大学）</p> <p>① お茶の水女子大学 福本まあや ② 筑波大学 寺山由美 ③ 東京女子体育大学 奥野知加 ④ 日本女子体育大学 松澤慶信 ⑤ 全国調査から 朴 京真（聖心女子大学）</p>
16：00～17：00	シンポジウム「大学における舞踊カリキュラムの現状とその可能性」

■ 閉会挨拶 舞踊学会会長 猪崎弥生